

識別番号 C99-19982 2000年3月31日

担当医等の意見

【シムメトレル】
シムメトレルの中枢神経作用により痙攣が起こりこれが誘因になって脳症に移行した可能性は否定出来ないと思われる。
原疾患・合併症との関連性に関し迅速キットにて「アルエルサ」陽性となつて起こり、これによる「アルエルサ」脳症と考えられる。これが最も重要なファクターになつていゝと思われる。(脳症、痙攣：重篤・障害につながらざる恐れ、関連ないとも言えない)
【副作用の重篤性/重症度/因果関係】
脳症(脳症)：重篤(障害恐れ) / 関連ないともいえない(シムメトレル)
痙攣(痙攣NOS)：重篤(障害恐れ) / 関連ないともいえない(シムメトレル)

報告企業の意見

【シムメトレル】
インフルエンザウイルスによる熱性けいれんおよび、脳症の可能性が考えられる。本剤による可能性は極めて小さい。(脳症：未知重篤・障害につながらざる恐れ、SUSPECTED/痙攣：既知、重篤・障害につながらざる恐れ、SUSPECTED)

処置と今後の対策

【シムメトレル】
本報告をもって特別な対応は取らないが、今後も類似の報告に留意する。

参考事項

【シムメトレル】
家族歴：なし

使用上の注意の記載状況等

【シムメトレル】
脳症、記載なし。けいれん記載。
PDR, CSI: 脳症の記載なし。
併用他剤の記載状況/けいれん、脳症の記載なし。
脳症の報告症例
国内報告：1例目
外国報告：なし